

京都市考古資料館 × 京都市立芸術大学 合同企画展

京都・三条せと物や町から出土した桃山陶器は、角の取れた形状や、豊富な色彩、ゆるい図文など、どこか親しみやすい魅力であふれている。そんな桃山陶器のデザインに着目した展示を、京都市考古資料館と京都市立芸術大学（以下、京芸）が合同で行う。京芸の授業「考古楽」は、学生が桃山陶器の考古学を楽しく学び、その成果としてデザインに着想をえた作品を制作するという、芸術大学ならではの授業である。今回の展示は、桃山陶器と学生たちの作品が一堂に並ぶ。学生それぞれが異なる視点で桃山陶器を捉えた作品は、桃山陶器の新たな魅力や親しみ方を探す糸口となるだろう。桃山時代の作品が時を超え、現代の学生に与えたインスピレーションを、肌身に感じていただきたい。

展示内容

1階特別展示コーナーには、桃山陶器と、そこからインスピレーションを受けた学生たちの作品が並ぶ。3階旧真室室には、学生が授業で制作した作品が集まる。考古学を楽しく学ぶ「テーマ演習（考古楽 桃山デザイン）」の授業では、桃山陶器のデザインに着想をえて学生が独自の作品を制作する。可愛いグッズデザインから可笑しい映像作品まで、個性豊かな作品たちをぜひご笑味ください。（※3階旧真室室での特別展示は土日のみ公開）

主な展示作品



《鳴海織部手付針》（愛称イタリアちゃん）



大西由羽《ももやまにあまる》



谷川由芽《iremomo》



山口汐璃乃《桃山おざぶとん》

中辻真尋《章魚帰郷図》



ギャラリートーク

大西由羽、谷川由芽、中辻真尋、山口汐璃乃（計4名作家）、田部未紗（企画）が作品解説を行います。

日時：12/19（日）、12/25（土）、12/26（日）、
1/8（土）、1/9（日）、1/15（土）、1/16（日）
いずれも①11時から②13時からの2回開催。

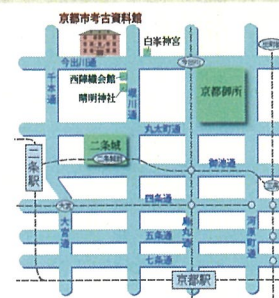
ワークショップ

「視線のアーカイヴ」

畑中英二（京都市立芸術大学教授）がワークショップを行い、3Dデータを使って新しい陶器の魅力を模索します。ギャラリートークと同日に開催。12時から約30分程度。

アクセス

- 地下鉄今出川駅から徒歩
市バス51、59、201、203系統
- 京阪三条駅から徒歩
市バス59系統
- 京阪出町柳駅から徒歩
市バス201、203系統
- 阪急大宮駅、JR・地下鉄二条駅から徒歩
市バス201系統
→「今出川大宮」停留所
考古資料館前下車すぐ
- JR京都駅・地下鉄二条城前駅から徒歩
市バス9系統
→「堀川今出川」停留所下車 西へ2分



※公共交通機関をご利用のうえ、お越しください。